

全建発第4-097号
令和4年 8月 3日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第686回建設技術講習会 (Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用)
開催のご案内について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、標記、建設技術講習会を別紙のとおり、開催いたします。

本建設技術講習会では、コロナ後の建設行政と公務員技術者、i-Constructionとインフラ分野のDXに関する施策の体系と今後の展望、AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来、建設業界で進むスマートデバイスツール、i-Constructionをリードするモデル事務所の取り組み、ICT普及促進と3次元データ活用の取り組み、インフラ分野のDXに向けたAI・ロボット等新技術導入などについて学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

全建発第4-098号
令和4年 8月 3日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第686回建設技術講習会（Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用）
開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会の講習会は、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向とi-Constructionの取り組みなど、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第686回建設技術講習会では、コロナ後の建設行政と公務員技術者、i-Constructionとインフラ分野のDXに関する施策の体系と今後の展望、AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来、建設業界で進むスマートデバイスツール、i-Constructionをリードするモデル事務所の取り組み、ICT普及促進と3次元データ活用の取り組み、インフラ分野のDXに向けたAI・ロボット等新技術導入などについて学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴機関職員が参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

第686回建設技術講習会のポイント



技術革新の加速化により 建設事業の未来が変わる！

○開催日：令和4年10月12日（水）～10月14日（金）

○開催場所：宮城県仙台市

○テーマ：Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用

○主な講義内容

- ・「コロナ後の建設行政と公務員技術者」（（公社）土木学会 谷口博昭前会長）
- ・「i-ConstructionからインフラDXへ」について国土交通本省の講師が体系的に解説
- ・「AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来およびMoonshotプロジェクトの展望」
(東京大学 全 邦釘 特任准教授)
- ・「建設業界が進む、生産性向上策への考え方とデバイスの上手な活用方法」を受注者の視点から講義

○現場研修

- ・震災遺構とともに震災の記憶を広く発信！仙台市東部沿岸部の集団移転跡地利活用事業 [仙台市]
- ・高盛土構造で津波被害を軽減！【令和3年度全建賞受賞事業】坂元・山寺復興道路 [宮城県]
- ・ICT技術を活用し、現在、河道掘削中！阿武隈川緊急治水対策プロジェクト [東北地整]

○交流会（参加予定講師）※今後予定が変更する場合があります

- ・（公社）土木学会 谷口講師、東京大学 全講師、（一社）日本建設業連合会 杉浦講師、国道交通省 森久保講師 他

第686回建設技術講習会（Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用）概要 ～i-Constructionの推進とICT等の新技術を活用した生産性向上の取り組みについて学ぶ～

会場 …… 日立システムズホール仙台（シアターホール）

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel.022-276-2110(代)

(1日目) 開場11:40		令和4年10月12日(水)		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	宮城県知事	村井嘉浩	泊和子 宏
13:00		仙台市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	郡和子	
13:00 }	コロナ後の建設行政と公務員技術者	(公社)土木学会前会長	谷口博昭	昭
14:30		芝浦工業大学客員教授 (一財)建設業技術者センター 理事長		
14:40 }	i-ConstructionからインフラDXへ	国土交通省大臣官房技術調査課	森久保	司
15:40		環境安全・地理空間情報技術調整官		
15:50 }	AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来 およびMoonshotプロジェクトの展望	東京大学大学院工学系研究科附属総合研究機構	ちぜん ぼん じょ	全 邦 釘
16:50		特任准教授		

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」＜希望者のみ＞予定
—(調整中)—

(2日目) 開場 9:00		10月13日(木)		(敬称略)
9:40 }	建設業界で進む、生産性向上策への考え方とデバイ スの上手な活用方法	(一社)日本建設業連合会	杉浦伸哉	哉
10:40		インフラ再生委員会技術部会 委員		
10:50 }	ICT普及促進と3次元データ活用の取り組み	国土交通省東北地方整備局	三浦高史	史
11:50		鳴瀬川総合開発工事事務所長		
13:00 }	ICT普及促進と3次元データ活用の取り組み	宮城県土木部事業管理課技術副参事兼 総括課長補佐	本郷和徳	徳
14:00				
14:10 }	【地域事業の紹介①】 令和元年東日本台風災害対応に係る 大規模河道掘削（ICT施工）について	国土交通省東北地方整備局	平館淳一	一
14:30		仙台河川国道事務所 副所長（河川担当）		
14:30 }	【地域事業の紹介②】 主要地方道相馬亘理線「坂元・山寺復興道路」 ～多重防御を担う嵩上げ道路～	宮城県土木部仙台土木事務所	畠山康晃	晃
14:50		道路部道路管理第二班 技術次長		
14:50 }	【地域事業の紹介③】 仙台市東部沿岸部の集団移転跡地利活用事業	仙台市都市整備局市街地整備部市街地整備課	佐藤雅和	和
15:10		東部再生担当課長		
15:20 }	Society5.0、インフラ分野のデジタルトランスフォー メーション（DX）に向けたAI・ロボット等新技術 導入について	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課	味田悟	悟
16:20		課長補佐		
16:20 }	閉会のあいさつ	宮城県土木部長	千葉衛	衛

(3日目) 集合（乗車） 7:50		10月14日(金) 【現場研修】	
-------------------	--	------------------	--

JR仙台駅東口（8:15）出発

- 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト [東北地整] → 坂元・山寺復興道路 [宮城県]
- 昼食（名取市内（イオンモール名取にて自由昼食）） → 仙台市東部沿岸部の集団移転跡地利活用事業 [仙台市]
- JR仙台駅（15:45）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS(予定)認定プログラム 【聴講/現場】全建:8.5/3.0、CPDS:(未定)

第686回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 仙台市東部沿岸部の集団移転跡地利活用事業 [仙台市] …………… 仙台市若林区 荒浜地区

- ・東日本大震災の津波により、多くの方々が犠牲となり、多くの住宅も流出した仙台市東部沿岸地域。
- ・平成27年度より、「仙台市東部沿岸地域」の再生に向け「集団移転跡地」の「新たな土地利用」に係る事業に着手してきた。
- ・仙台の「新たな魅力の場」の創出に向け、広大な土地（約43ha）に、行政だけでは出来ない、市民や企業など民間の皆様が自由な発想で自ら取組む新たな土地利用を進め「海辺の新たなにぎわいづくり」が行われている。
- ・現在、18の跡地利活用事業者（約32.8ha）が決定、うち13事業者が事業を開始。
- ・地区内には、「震災遺構仙台市立荒浜小学校」や「震災遺構仙台市荒浜地区住宅基礎」もあり、震災の記憶や経験、地域の歴史や文化を広く発信している。



2 坂元・山寺復興道路 [宮城県] …………… 宮城県亶理郡山元町～亶理郡亶理町

- ・福島県相馬市松川浦から新地町、宮城県山元町を経て亶理町鳥の海地区までの仙台湾沿岸部を南北に結ぶ、全長 31.9km の主要幹線道路。
- ・沿線住民の暮らしを支えるとともに、地域産業である農作物や海産物などの物流や、観光交流など、地域間の連携を担う重要な路線。
- ・東日本大震災では、沿岸の市街地が壊滅的な被害を受け、各市町では復興まちづくりを進めてきており、県では山元町の復興まちづくり計画を踏まえ、山元町坂元から亶理町吉田までの 11.2km（山元町 11.0km、亶理町 0.2km）について、JR 常磐線の旧鉄道敷を活用した高盛土構造の道路を計画し、津波に対する防衛・減災機能を併せ持つ多重防御施設として、平成 24 年度から復興交付金事業（坂元・山寺復興道路）により整備を進めてきた。
- ・高盛土構造とすることによる、津波被害の軽減、横軸の避難路を縦に連絡する二次避難路・救出路として機能する防災道路ネットワークの構築を図った。
- ・ICTを活用した三次元起工測量、盛土転圧管理、法面整形により省力化・効率化が図られ生産性が向上した。
- ・令和 3 年 3 月に全線が開通し、令和 3 年度の全建賞を受賞。



3 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト [東北地整] …………… 角田市佐倉地内

- ・令和元年台風第19号に伴う洪水により、阿武隈川では越水・溢水が発生し、本川上流部や支川では堤防決壊等が多数発生するとともに、本川下流部では大規模な内水被害が発生するなど、流域全体で甚大な浸水被害となった。
- ・国、県、市町村等が連携し、「浸水被害の軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す。
- ・プロジェクトでは、ハード整備として河川における治水対策の推進、ソフト対策として減災型都市計画の展開、地区単位・町内会単位での防災体制の構築、バックウォーターも考慮した危機管理対策の推進、市町村の実情に応じた減災の取り組みを実施。
- ・ハード整備では、掘削工事における生産性の向上、工事安全管理に寄与するICT技術活用の施工管理を取り入れており、現在、河道掘削中。



第 6 8 6 回建設技術講習会【聴講】の申込みについて ～ Society5.0 に向けた公共事業における新技術の活用～

【聴講の申込み】

1. 申込み手続き

申込み時に次の手続きが必要になります。

- ① 申込書の送付
- ② 聴講料の振込
- ③ 現場研修料の振込（現場研修に参加しない場合は不要）

2. 申込み方法

① 申込書の送付

申込書に必要事項を記入し次のアドレス宛にメールで送付して下さい。

なお、聴講料等【下記②及び③】については、申込締切日の1週間後から振り込みの手続きをしていただくようお願いします。

送付先アドレス kensyu1@zenken.com （メールアドレスに注意してください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、西鉄旅行（株）が申込みを受け付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会 事務局が受け付けます。

上記のアドレスに申込書を送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会事務局及び西鉄旅行（株）に届きます。

② 聴講料の振込

参加者の聴講料を次の銀行口座に振込んで下さい。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「686」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,800円	13,700円	13,700円	13,700円
宮城県内の国・県に勤務	13,700円	2,100円	2,100円*2	—
宮城県内の市町村に勤務	2,100円	0円	—	—
東北地区連合会管内の市町村に勤務*1	18,800円	2,100円	—	—
30歳未満	18,800円	2,100円	—	—
学生	0円	—	—	—

※1 政令市職員は除く、※2 特別会員は開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

（参考）

③ 現場研修料の振込

「第686回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

3. 申込み締切日

令和4年9月14日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

4. 変更・取消

① 聴講の申込み内容の変更・取消

申込みの取消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

取消日	取消料
7日前（10月5日）～前日（10月11日）	聴講料の 50%
当日（10月12日）	聴講料の100%

② 現場研修の申込み内容の変更・取消

「第686回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

5. 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・新型コロナウイルス感染症への対策として聴講及び現場研修を通常より少ない募集人数といたします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の対応（募集人数、最少実施人数等を含む）については、「第686回建設技術講習会における新型コロナウイルス感染症への対応について」をご参照ください。

6. その他

- ・テキスト及び聴講料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
- ・事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ（<http://www.zenken.com/>）もご覧ください。

7. 問合せ先

① 建設技術講習会

聴講の内容・申込み/現場研修の内容

（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎

TEL 03-3585-4546 E-MAIL kensyu@zenken.com

② 現場研修の申込み

「第686回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

③ 宿泊斡旋の申込み

「宿泊斡旋のご案内」に記載されています。

【講習会会場及び現場研修集合場所案内図】

【講習会会場】

仙台駅から市営地下鉄南北線・泉中央方面行き 10 分、「旭ヶ丘駅」下車、東 1 番出口より徒歩 3 分



【現場研修集合場所】



第686回建設技術講習会における新型コロナウイルス感染症への対応について

令和 4年 8月 3日
(一社) 全日本建設技術協会

このたびの第686回建設技術講習会は、募集人数を減らし、新型コロナウイルス感染症における必要な対策を講じた上で実施することといたしました。

なお、今後の社会情勢等により、実施方法の変更や中止となる場合があります。
その場合には、本会ホームページにて発表するとともに各地方協会等へメールにてお知らせいたします。

第686回建設技術講習会に参加される方は、新型コロナウイルス感染予防にご協力下さい。

【募集人数について】

＜講習会＞

1. 聴講の募集人数は、会場収容人数584名のところ290名とします。なお、講習会の最少実施人数を150名とし、人数に達しなかった場合には、講習会（聴講及び現場研修）を中止いたします。

＜現場研修＞

2. 現場研修の募集人数は、使用する大型バスの乗車定員45名／台のところ22名以下／台×8台とし、170名とします。なお、現場研修の最少実施人数を106名とし、人数に達しなかった場合には、現場研修を中止いたします。

※上記1～2については、申込みを先着順といたします。募集人数に達した時点で、申込みを締め切ります。申し込みを締め切った際は、全建HPにてお知らせいたします。

【会場での感染予防対応等】

1. 受講者の間隔を十分に確保したゆとりのある座席配置を行います。このため、募集人数が通常より少なくなりますことをご了承ください。
2. 当日の受付は、受講者の皆様と会場スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. 講習中でも換気を行う場合がありますので、ご協力をお願いします。
4. マスクの着用をお願いします。なお、会場スタッフもマスクを着用させていただきます。また、適宜、館内の消毒液や洗面所の液体石鹸等による手指消毒にもご協力ください。
5. 発熱や咳など体調不良の場合はご来場を見合わせてください。
6. 講習会場で検温を実施いたしますのでご協力をお願いします。体温が37.5度以上の場合は、受講をご遠慮いただくことをご了承ください。
7. ドアノブや使用機材等の消毒を行います。
8. 講習会終了後、14日以内に感染および感染が疑われる症状が発生した場合は、速やかに全建事務局までご連絡ください。感染者または濃厚接触者と分かった場合は、保健衛生局等への情報提供にご了承ください。保健衛生局等からの聞き取りなどへの協力および要請に対応していただきますようお願いいたします。

【現場研修（バス等）での感染予防対応等】

1. バス車内・視察現場等では、参加者の間隔を確保したゆとりのある配席等を行います。
2. バス車内・視察現場等では、参加の皆様と参加スタッフとの接触を極力減らし、スムーズに行えるようにいたします。
3. バス車内は、外気換気モードによるエアコンの使用を基本とし、バス車内換気能力を参加者へご案内します。
4. バス乗降時には、消毒液を用意しますので手指の消毒のご協力をお願いします。
5. バス車内の手すりや使用機材等の消毒を行います。

第686回建設技術講習会【現場研修】の募集について

1. 日 程：

令和4年10月14日（金）8:15～15:45

集合（乗車）7:50～

仙台駅東口（8:15）出発

- 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト [東北地整]
- 坂元・山寺復興道路 [宮城県]
- 昼食（名取市内（イオンモール名取にて自由昼食））
- 仙台市東部沿岸部の集団移転跡地利活用事業 [仙台市]
- 仙台駅東口（15:45）着後解散

2. 募集人数：170名（先着順）

※募集人数に達した時点で、申込みを締め切ります。

※現場研修のみの参加はできません。

3. 最少実施人数：106名

※最少実施人数に達しなかった場合には、中止いたします。

4. 添乗員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員と西鉄旅行㈱添乗員が同行します。

5. 旅行代金：12,800円（税込）

（現場研修料）

※昼食の費用は含まれておりません（各自で自由昼食となります）

6. 申込方法：

① 申込書の送付

申込書に必要事項を記入し、申込金〔下記②の銀行振込の控え〕を添えて期限までに次のアドレス宛にメールで送付して下さい。

なお、申込金〔下記②〕については、申込締切日の1週間後から振り込みの手続きをしていただくようお願いいたします。

送付先アドレス kensyu1@zenken.com（メールアドレスに注意してください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、西鉄旅行（株）が申込みを受付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会事務局が受付けます。

上記のアドレスに申込み書を送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会事務局及び西鉄旅行（株）に届きます。

② 旅行代金（現場研修料）の振込

参加者の旅行代金（現場研修料）を次の銀行口座に振込んで下さい。

振込口座：みずほ銀行 京橋支店 普通 1227472

口座名義：ニシテツリョコウ（カブ）

※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「686」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

7. 申込締切日：令和4年9月14日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

8. 取 消 料 :

取 消 日	取 消 料
10日前～8日前	研修料の 20%
7日前～前々日	研修料の 30%
前日	研修料の 40%
当日	研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	研修料の 100%

9. 申込のお問合せ :

西鉄旅行(株)全建担当デスク Mail: zenken@travel.nnr.co.jp TEL 03-6742-0324

10. 視察内容のお問合せ :

(一社)全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
Mail: kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546

11. 旅行企画実施 :

西鉄旅行(株)東京団体支店 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス
観光庁長官登録旅行業第579号 TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
(一社)日本旅行協会正会員 MAIL zenken@travel.nnr.co.jp

12. そ の 他 :

研修料の領収書は、入金を確認し研修終了後に送付いたします。視察資料は当日集合場所にて、参加証は終了後にお渡しいたします。
参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。

宿泊斡旋のご案内

- ① **宿泊斡旋**：参加者には仙台市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
 宿泊代金につきましては、事前に西鉄旅行㈱にお支払いください。
- ② **宿泊予約申込み**：別紙申込み書に必要事項を記入しお申し込み下さい。
- ③ **申込み先**：西鉄旅行(株) 東京団体支店 Mail kensyu1@zenken.com
 申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0324 FAX 03-6742-0328
 申込み後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

- ④ **取り消しについて**：

宿泊日の3日前～	宿泊日前日	宿泊当日 及び無連絡不泊
宿泊代金の20%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。

取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

- ⑤ **斡旋する宿舎名、宿泊料**

令和4年10月11日～13日

(1泊朝食付、サービス料・消費税込み)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	斡旋人数	宿泊代金
① ホテル京阪仙台(全室禁煙(喫煙ブースあり)) 宮城県仙台市青葉区中央3丁目3-5 TEL022-263-0321	シングル	40人	9,000円
② ダイワロイネットホテル仙台 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-2-37 TEL022-293-7055	シングル	40人	9,500円

※申込み締切後、参加者が決定次第、「宿泊案内」を送付します。

※ご希望のホテル番号(①～②)を申込書に記入してください。先着順で手配いたします。

番号のご記入がない場合には、空室のホテルから手配いたします。

※禁煙ルームの数には限りがある為、ご希望に添えない場合があります。その場合には、消臭対応をさせていただいたお部屋となります。

※喫煙をご希望の方は、申込書に“喫”と記入してください(②のみ若干数)。

